

ブラジルのクラブで火災！！ - 西日本防災システム

2013 01 27

1月27日 ブラジル南部サンタマリアのナイトクラブ「キス」で火災が発生し、245人以上の方が死亡したようです。報道によりますと、火災は27日午前2時過ぎ頃に発生したそうです。出火時店内では大学のパーティーが催されていて、ロックバンドが演出で**花火**を使っていたそうです。店内には大学生を中心に300~400人の客で混雑していたとみられています。「最初は小さな炎だったのに、一瞬で燃え広がった」「ステージの近くにいた人たちは脱出できなかった」と、生存者の一人は報道陣に語ったそうです。別の生存者によりますと、出入り口のドアはととても小さく、そこに大勢の人が殺到したといえます。サンタマリアの消防当局によりますと現場はパニックになり、多くの人が踏みつけられたり、煙を吸ったりしたことによる窒息で死亡したようです。サンタマリアの軍警隊は245人の死亡を確認するとともに、さらに48人が病院に搬送されたと報道陣に語ったそうです。このため死傷者数は増える可能性があります。ブラジルのジルマ・ルセフ大統領は、チリのサンティアゴで開催中の欧州・南米首脳会談に出席していましたが、予定を切り上げて帰国し、サンタマリアへ向かったそうです。当局が出火原因を調べています。ある目撃者は「ステージ上のどこからともなく火が出た」と話しているそうです。ステージでは**花火**を使ったショーが上演されていて、警察はクラブ経営者や目撃者から事情を聴いているそうです。建物の屋根の一部が崩落したため逃げ場を失った客もいたようです。地元消防当局者は生存者の話として、警備員が**出口を閉鎖**したために店内がパニック状態となり、被害が拡大したと述べています。国内ニュース専門局の記者は「警備員らは当初、店内でけんかが始まったと勘違いし、客が精算せずに出て行くのを防ぐために出口をふさいだ」と伝えています。同国の多くのクラブと同様、店内には**非常口**の表示がなかったといえます。消防当局者によると、同クラブの**営業許可**は昨年8月に期限が切れ、更新されていなかったようです。サンタマリアは複数の大学が集まる学生の街で28日から新学期の始まる大学が多く、クラブは夏休みの終わりを惜しむ学生らでにぎわっていたそうです。国内ニュース専門局の記者は「警備員らは当初、店内でけんかが始まったと勘違いし、客が精算せずに出て行くのを防ぐために**出口をふさいだ**」と伝えています。??? お亡くなりになった方の御冥福をお祈り致しております。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

